

【教育目標】	未来をひらく豊かな社会をめざして
◎ 自ら進んで学ぼう	○思いやりの心 感動する心をもとう ○たくましく 心と体をきたえよう

学 校 評 価 報 告				自 己 評 価		
学 校 評 価 報 告	評 価 項 目 (＝中長期的目標)	評 価 方 法・目 標 水 準	評 価 結 果	自 己 評 価	関 係 者 評 価	最 終 評 価
						(上段)○学校関係者評価の概要及び意見 (下段)●考察及び、次年度への課題と解決策
	○確かな学力の向上	①総合的な学習の時間を中心にプレゼンテーション・発表活動を充実させ、年に1回以上PCを用いた発表する機会を設定する。授業の中で タブレットPCを効果的に活用 する。 (令和3・4年度日の出町研究指定の実践の継続)	生徒アンケート 89.8% 授業の中でどの教科もタブレットPCを効率的に活用できた。	B		
		②思考力・判断力・表現力を高める指導の工夫する。【主体的・対話的で深い学び】 【日の出町学習スタンダード】[個→グループ(協働学習)→全体での活動]を徹底する。	生徒アンケート 81.3% 各授業で協働学習は定着してきた。	B		
		③家庭学習の習慣を付けるため、【学習見える化計画表】に取り組ませ、学習のきっかけをつかませる。(3年計画の2年目)【生活見える化計画表】(1年のみ)を併せて取り組ませる。 英語の聞力をつけるために、 英会話の放送 や、清掃時の英語の音楽を流す。	学習見える化計画表 43.6% 昼食時の英会話放送 38.7% 清掃時の英語音楽 85.7%	C		
		④テスト前の 質問教室 は全教科で行う。また、休業中の 学習教室は年間16日以上 実施する。 放課後学習教室を毎週火曜日と水曜日に開催する。	年間15日以上実施	A		
	○感動あふれる学校	①体育祭、音楽会、職場体験における生徒の表現力を向上させる。 保護者アンケートで、各行事で感動したと回答する割合を 80%以上 にする。	アンケートから 88.7%	A		
		②一人一人に適した卒業後の進路決定。卒業式までに生徒の 進路先を100%決定 する。	進路決定 100%	A		
		③コミュニケーションの場として校長室前の「 立ち止まりの場所(仮称) 」を充実させる。 「立ち読みSmall Library」/スライドショー映像「等身大鏡の身なりチェック」等	「立ち読みSmall Library」は生徒たちのコミュニケーションの場となっていた。	B	A	B
		④体育祭、音楽会に 生徒全員参加率を95%以上 にする。	体育祭生徒参加率98% 音楽会生徒参加率94%	A		
		⑤進学講演会、進路説明会の充実。更に、進路説明会保護者の参加率を 80%以上 にする。	進路説明会の1回目参加率 61% (3年のみ) 2回目参加率 61%	C		
	○人権尊重の意識の醸成、 自他を尊重する心や態度の育成	①生徒アンケートで、悪口、言葉の暴力や意地悪をしなかったと答える生徒を 80%以上 にする。	生徒アンケート80.7%肯定的意見	A		
		②全校で 人権作文 に取り組ませ、生徒の 作文提出率を90%以上 とする。	人権作文提出率85%	B		
		③道徳授業の充実。 4人グループでの話し合い活動を取り入れ【 考える道徳、議論する道徳 】を行う。	生徒アンケート82.3%肯定的意見 グループ活動を取り入れた道徳授業が定着してきた。	B	A	B
		④ 年3回 のふれあい月間終了時にいじめに関する実態調査を行い、記載事項については聞き取り調査も実施し、 初期対応に当たることで問題解決 させる。	3回の実態調査を行う。 タイムリーに生徒への聴き取りができた。	A		
	○保護者や地域との連携の推進	①保護者アンケートにおいて、「学校の情報や生徒の様子の分かりやすく伝えられている」と答える保護者の割合を 80%以上 にする。 (学校HP、学校だより、学年だよりで情報発信する。宿泊行事等は【 すぐくる 】でリアルタイムに情報発信し、家庭に様子を伝える。)	アンケートから 90%	A		
		②【 日の出町教育ビジョン2023 】家庭・地域・学校が【 かかわりと 】と【 つながり 】を意識した取組を推進し、「学び」の成果を地域や次の世代に伝える「 学びの循環 」を大切にする。 保護者アンケートで肯定的意見は 80%以上	アンケートから 79.5%	B	A	A
		③全ての判断基準を【 生徒ファースト 】決められたルールの中でまず、生徒に必要かどうか、教育的効果を考える中、教員の働き方改革を考慮しつつ、保護者・地域の理解を得る。保護者アンケートで肯定的意見は 80%以上	アンケートから 84%	A		
		④学校行事、学校公開の積極的な公開の推進。 学校行事における地域からの参加者のアンケートで「満足した」と回答する率を 90%以上 とする。	アンケートから 95.1%	A		
	○真に信頼される学校	①自己評価で組織的な運営ができたと答える教員の割合を 80%以上 にする。 主幹教諭を軸とした 組織的な学校運営 の推進。	教員の自己申告の学校運営から平均 83%	B		
		②不登校生徒の【 居場所づくり 】を重視し、複数の教員での【 つながり 】をもつことで寄り添い指導を徹底する。 スマイルルーム の利用を柔軟にし、生徒が利用しやすい環境を整える。 支援コーディネーターを中心に、SCや町教育相談と連携する。	特別支援委員会年間 35回以上委員会の一部の組織にスマイルルームを入れる。	A	A	A
		③毎期の経営会議で3名の主幹教諭への指示・伝達を行うことで、学校経営への参画をさせ、各分掌及び学年による 若手教員に対するOJT を充実させる。	経営会議は長期休業中以外は毎日実施できた。	A		
		④生活指導部と連携し、情報交換に留まらず、指導方針を打ち出し徹底する。生活指導主任を中心に各学年の生活指導担当と連携を図り、 問題解決に即時取り組み解決 させる。	生活指導主任を中心に生活指導部と学年が連携し、いじめ問題の早期解決ができた。	A		
						○話を聞いてもらいたい安心と思える大人とおしゃべりしたい生徒が大勢いるのではないのでしょうか(大人の世界もそうかもしれませんが) スマイルルームがその架け橋になっていただけたと思います。 ○不登校問題などの各種課題に対して、解決に向けた取組がしっかりされていると見受けられる。 ○校長のリーダーシップにより学校が一体となって運営されていることがよく分かります。 ○スマイルルームは、いろいろな工夫がされていて、いろいろな活用ができてうでとても期待しています。
						●学校経営の「 生徒ファースト 」は定着しつつある。 ●学校の情報は、学校だより、学年だより、クラスだより、宿泊行事等でのすぐメールで各家庭に生徒の様子を周知することができた。 ●宿泊行事では、 すぐくるにてリアルタイムの映像付き(1回4枚) のメールは、保護者に好評であった。 ●令和5年度からの女子制服の スラックス導入 と、令和6年度からの 新体育着 (ジャージ・ハーフパンツ・ジャズ)は定着した。、 ●家庭・地域・学校が【かかわりと】と【つながり】を意識した取組は、 来年度コミュニティ・スクール にて更に推進していく。